

この度の八段受審者講習会には、35名の方から参加いただきました。

はじめに、本年5月、京都審査会において見事八段に合格された木村嘉靖先生から講話をいただきました。受審12回中、一次審査通過7回という驚異的な一次審査合格実績が、先生のたゆまぬ地道な努力と、謙虚に他者の指導を受け入れる誠実なお人柄ゆえのことであることを再認識させられるお話でした。

さて、本講習会の冒頭、審査講習委員長吉田仁先生のご挨拶の中で「令和5・6年度の一次審査合格者の割合が、本県は全国9位」とあるという報告がありましたが、なるほど、午前・午後の模擬立ち合いを拝見しいたところ、受講生の皆様の技量の向上には目を見張るものがありました。受講生の皆様の日頃の鍛錬の賜物と拝察いたします。因みに午後の部は、本県八段講師4名による採点形式で行われましたが、体調不良者を除いた30名の立合者中、一次審査通過の一つの目安となる32点（平均8点）以上の方が6名、あと一步（30・31点）の方が9名いらっしゃいました。つまり、半数の方は一次審査通過の可能性がかなり高いということです。また、平均6点以下の方は一人もおらず、総合的には高い点数にはならなかった方も、それぞれに良い技、良い機会、良いところが多々ございました。

本講習会は、あくまで「この日、この時の出来ばえ」ですので、本審査での可否をお約束できるものではありませんが、良かった点を自信とし、悪かった点を糧とし、評価を謙虚に受け止められ、更なる努力研鑽を積まれることを希望してやみません。本審査においては、奢ることなく臆することなく、皆様の日ごろの成果が存分に発揮されますことを切に願っております。頑張ってください。

（文責 高橋直志）